

未来共創イノベーション活動支援
平成 29 年度採択企画最終ヒアリング結果報告書

1. 企画名 水の環でつなげる南の島のくらし

2. 提案機関 国立大学法人琉球大学

3. 企画の概要

本企画の目的は、島嶼の多様な資源は水循環を介して相互につながった共有資源であるにとらえ、島嶼に特有な地下水を中心とした水循環と各資源間の関係性を理解し、異なる資源のステークホルダー間を結びつける島嶼型環境ガバナンスを確立し、健全な水循環社会を実現するため、様々な対話の場を創出することである。南西諸島には飲料水源の水質悪化、観光・農業用水の不足、地下水の塩水化、地下水汚染によるサンゴ礁生態系の劣化などの水に関する課題が山積している。本企画ではこれらの課題解決に資する多様なステークホルダーや多世代との対話の場を創出し、地域の暮らしと水のつながりを向上させ、健全な水循環社会を共創することを目指す。

4. 最終ヒアリング結果総合所見

計画を上回る実績を上げ、ネットワークの定着・継続・発展が一層期待できる。琉球大学のリソースをうまく活用して、多くの活動を実施し、多様な層の住民参加、自治体の主体的取組への展開に結びつけたこと、また、水循環ワークショップやみずのわ教室等が活発に開催され、行政側の機能強化や、課題発見につながるアクションリサーチが実践され、市民の理解増進にとどまらない対話活動もなされたこと、更に ESD 教育プログラム・教材開発も、教員や子どもの意見や理解を反映させながら進められたことはいずれも高く評価できる。

今後、多様なステークホルダーとの対話プラットフォームの形成や、行動変容を起こすきっかけとなることに期待したい。また、同様の課題を持つ海外における科学技術や科学技術コミュニケーションの取組みに貢献できる機会を創ってほしい。

以上